

北陸ブロック養護教員部学習会in福井

8月6日(日)～7日(月)に、あわら市グラウンディア芳泉において、北陸ブロック養護教員部学習会が開催され、160名の参加がありました。福井県からは85名の養護教員が参加しました。

1日目



日教組養護教員部長
原 美紀さん

日教組養護教員部部長の原美紀さんが、「私たちをとりまく情勢と課題」について報告しました。特に、「運動器検診」「色覚検査」「集団フッ素洗口・塗布」「ピロリ菌検査」「健康診断票のビックデータ化」など、学校現場の現状と課題についてお話しされました。



細田ゆかり部長

各県の養護教員部長から、昨年度の活動報告、本年度の活動計画、今後の課題など、各県情勢報告を行いました。福井県からは、細田部長が活動報告を行いました。



全体会の様子



開催県代表挨拶
竹野 亨 委員長

名古屋大学大学院教育発達科学研究科准教授の内田 良氏による「スポーツにケガはつきものか?—『見える化』活動の成果報告」と題する講演が行われました。

学校リスクの事例やデータを収集し、隠れた実態を明らかにして、調査研究ならびに啓発活動についての報

告が行われました。

様々な問題に目を向けることの重要性についてお話しいただきました。重大事故はなぜ起きるか?の問いかけに「私たちがリスクを見ようとしないからである」などの提言がなされました。



名古屋大学大学院
教育発達科学研究科
准教授 内田 良氏

2日目

3つの分科会に分かれ、今日の課題について提案と協議が行われました。しかし、台風の影響もあり、後半のグループ協議の時間が余り取れませんでした。その短い時間の中でも、グループに分かれて、学校現場での諸問題に対して話し合うことができ、各県での取り組みを知ることができました。

第1分科会「養護教員の権利・労働条件」



伊部 尚美さん(万葉中)
田中 華織さん(吉川小)
による問題提起

第1分科会では、万葉中学校の伊部さんと吉川小学校の田中さんが「養護教員の執務に関する調査を通して」というテーマで、福井県教職員組合・養護教員部が実施した「執務に関する実態調査」「複数配置・保健室補助員に関する調査」「労働に関する調査」の結果を報告しました。富山県の養教からは兼務校について報告がなされ、取り組むべき方向性について話し合いが行われました。



第2分科会「子どもの健康をめぐる問題と健康教育」



第3分科会「子どものころをめぐる問題」



第2分科会では、石川県の「食物アレルギーへの校内対応」、新潟県の「健康教育推進」について話し合われました。

第3分科会では、新潟高の「子どもたちの現状とかわり」として子どもと養教、SC・SSW・SLS(スクールライフサポーター)との連携が話し合われました。

<参加者の感想>

- 【講演会】・私たちの物の見方、捉え方で、見えなかったリスクに気付けるように心がけたい。
・「教育だと思えばリスクが見えなくなる」という言葉が強く心に残った。
- 【分科会】・「できる」「続ける」「楽しむ」とても大切なキーワードだと思った。やらされるのではなく、楽しく続けられる活動、取り組みをしたい。